

抗インフルエンザウイルス薬の予防投与の考え方について

インフルエンザの予防については、あくまでもワクチン接種やマスク着用・手洗いなどの対策が基本です。抗インフルエンザウイルス薬による予防投与については、病院内における集団発生や重症化リスクを有する基礎疾患のある患者が曝露を受けた状況においてのみ考慮されます。

当院の外来診療では、原則、予防投与は推奨しておりませんが、流行状況や濃厚接触の度合い、医学的に必要と医師が判断した場合には予防投与を実施することがあります。

■ 予防投与の対象者（抗インフルエンザウイルス薬の添付文書より）

患者の同居家族または共同生活者である下記の者

- 1) 高齢者（65歳以上）
- 2) 慢性呼吸器疾患または慢性心疾患患者（リレンザは、慢性心疾患患者のみ）
- 3) 代謝性疾患患者（糖尿病等）
- 4) 腎機能障害患者

<注意事項>

予防投与は上記対象者か否かによらず、保険が適応されません。病院や薬局での支払いは自費（10割負担）となります。

例、オセルタミビルカプセル 75mg（薬価）1144円/10C

イナビル吸入用粉末剤 20mg（薬価）4359円/2個

また、上記対象者は副作用被害救済制度の対象となりますが、受験を控えているなど患者さん自身の理由による処方の場合には対象外となることがあります。

<インフルエンザの予防投与が認められている薬剤>

薬剤名 (成分名)	当院 採用	採用 剤形	接触後投与開始 までの期間*1	保険請求 (外来診療)	副作用被害救済制度と 投与時の同意書の取得について
タミフル (オセルタミビル)	○	カプセル ドライシロップ	48時間以内	自費 (保険 適応外)	添付文書で投与が認められた対象者は副作用被害救済制度の対象となる →同意書は不要 それ以外の場合には、副作用被害救済制度が認められない場合がある → 同意書が必要
イナビル (イナビル)	○	吸入	48時間以内		
リレンザ (ザナミビル)	○	吸入	36時間以内		
ゾフルーザ (バロキサビル)	×	-	48時間以内		

*1 上記の期間以降に投与開始した場合、有効性を裏付けるデータなし

- 健康な人への抗インフルエンザウイルス薬による予防投与は推奨しない
- 予防投与は保険が適応されない（外来診療では自費診療）
- 添付文書で投与が認められている対象者は副作用被害救済制度の対象となる
- 添付文書に記載がない場合は副作用被害救済制度の対象外となる場合がある（適応外のため同意書必要）

— 今月号の目次 —

- ① <今月のトピック 1> 抗インフルエンザウイルス薬の予防投与の考え方について・・・P1
- ② <今月のトピック 2> 検査値による副作用回避～副作用の重症度分類表（当院版）・・・P2
- ⑤ <DI情報>・・・P2-4
- ⑥（付表）副作用グレード表

検査値による副作用の早期発見・重篤化回避へ ～副作用の重症度分類表（当院版）を作成しました～

当院では、本年8月より院外処方箋に検査値を記載しています。これにより、検査値に応じた処方確認のほか、副作用の早期発見や重篤化の回避につなげることが可能になります。

検査値の基準値は医療機関毎に多少異なりますが、副作用の重症度は国際基準（CTCAE※）が作成されており、統一的に評価することが可能です。CTCAEには院内基準値により重症度が変化する項目があるため、この度、当院版の副作用グレード分類表（副作用の重症度分類表）を作成しました。（付表）

（※有害事象共通用語基準；CTCAE；Common Terminology Criteria for Adverse Events）

保険薬局の方へ

副作用の重症度分類表を参考に、Grade、状態の推移、症状の有無や有効性を考慮して評価をお願いします。また、必要に応じて当院へご連絡をお願いします。

また、保険薬局で確認された副作用についても、引き続き情報共有をお願いいたします。当院では副作用が発生した場合、全国民医連を通じて厚生労働省へ報告をしています。（その際の情報の1つにグレード分類も含まれます。）

DI 情報

【副作用報告】DI委員会 11月報告：

協同 8件、西協同 1件、熊谷 1件、さいわい 1件、おおみや 1件、大井 1件

No	被疑薬	副作用名	グレード	院所	評価
1	アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム 3 g 静注用	アナフィラキシー	3	協同	可能性あり
2	トアラセット配合錠「武田テバ」	嘔吐 発汗	1 1	協同	可能性あり
3	スルバシリン静注用 3 g	薬疹 搔痒感	1 1	協同	可能性あり
4	アセトアミノフェン 200 mg 錠	肝障害	2	協同	可能性あり
5	トラネキサム酸錠 250 mg 「日医工」	肝障害	2	協同	不明
6	セフトリアキソン Na 静注用 1 g 「CHM」	薬疹	2	協同	可能性あり
7	アセリオ静注液 1000 mg バッグ	薬疹	2	協同	可能性あり

8	オムニパーク300注シリンジ125 mL	薬疹	2	協同	可能性あり
9	アトルバスタチン錠5mg、10mg「サワイ」	CK上昇 筋肉痛	1 1	西協同	可能性あり
10	イオパミドール300注100mL「F」	膨隆疹 嘔気 搔痒感	1 1 1	熊谷	可能性あり
11	アレンドロン酸錠35mg「サワイ」	顎骨壊死	3	さいわい	可能性あり
12	パキロビッドパック600	味覚不全	1	おおみや	可能性あり
13	アトルバスタチン錠5mg「サワイ」	脱力感 筋肉痛 倦怠感	1 2 1	大井	不明

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】 DI委員会 11月報告

薬剤名	経過・内容
グリメピリド錠 メトホルミン錠 トラゼンタ錠	腎症Ⅲ期、CRE:1.64、CKD分類:G3bA3 HbA1c:7.4の方。 グリメピリド、メトホルミン、トラゼンタ服用中。 主治医よりグリメピリド(重度な腎機能障害患者は禁忌)を変更したいが、ナテグリニドにするか相談あり。 提案) ナテグリニド(腎排泄)ではなく、シュアポスト(肝代謝)を提案。 また、メトホルミン(腎排泄)、トラゼンタ(肝代謝)から、より血糖降下作用の強いリベルサス(肝代謝)への変更を提案。 結果) グリメピリド、メトホルミン、トラゼンタの中止。 シュアポスト、リベルサスの追加。
イトラコナゾール	イトラコナゾールと併用注意薬あり。 確認) 下記相互作用について主治医に情報提供。 ラベプラゾール: イトリゾールの作用減弱の可能性あり アトルバスタチン: アトルバスタチン血中濃度上昇により副作用発現の可能性あり アムロジピン: アムロジピン血中濃度上昇により血圧低下の可能性あり マグミット: イトリゾールの作用減弱の可能性あり 結果) ラベプラゾール: イトリゾール内服中は中止。 アトルバスタチン5mg: ロスバスタチン2.5mgへ変更。 アムロジピン2.5mg: オルメサルタン10mgへ変更。 マグミット: 朝夕から朝昼へ服用時間変更。
デエビゴ錠	必要時指示にデエビゴ処方あり。検査値だけでChild-Pugh分類8点の肝障害あり。 確認・提案) 肝障害患者ではデエビゴの血中濃度上昇の恐れあり。重度の肝障害では投与禁忌、軽症・中等度の肝障害では慎重投与に該当。他剤への変更も含め、デエビゴ処方について主治医に確認。 結果) 必要時デエビゴは削除、ワイパックス頓用処方へ変更。

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
新規試用 (熊谷)	日興製薬	亜鉛華軟膏「ニッコー」	2.7 円/g			
追加規格	大塚製薬	アクアチム軟膏 1%	24.5 円/g			
品変更 採用医薬	東和薬品	ビソプロロール錠 0.625mg/2.5mg/5mg「トーワ」	10.1 円 /0.625mg 錠	沢井製薬	ビソプロロール錠 0.625mg/2.5mg/5mg「サワイ」	10.1 円 /0.625mg 錠
取扱医薬品変更	東和薬品	タクロリムス錠 0.5mg/1mg「トーワ」	171.4 円 /1mg 錠	ニプロ、 ヴィアトリス、 アステラス	タクロリムスカプセル 0.5mg/1mg「ニプロ」、 「VTRS」、プログラフカ プセル 0.5mg/1mg カプセル	171.4 円 /1mg 錠(ニ プロ、 ヴィアトリス) 453.2 円/1mg カ プセル(プ ログラフ)
	サンド	バルサルタン錠 20mg/40mg/80mg 「サンド」	10.1 円 /40mg 錠	沢井製薬	バルサルタン錠 20mg/40mg/80mg「サワイ」	10.1 円 /40mg 錠
変更 試用医薬品	東和薬品	ガランタミン OD 錠 4mg/8mg/12mg 「トーワ」	46 円 /12mg 錠	沢井製薬	ガランタミン OD 錠 4mg/8mg/12mg「サワイ」	46 円 /12mg 錠
う 採用変更 中止に伴	日本臓器	ビーマス配合錠	5.7 円/錠	日医工	ベンコール配合錠 ※販売中止、採用削除済み	5.6 円/錠
採用 医薬品 削除 中止に伴う				ノボノル ディスク ファーマ	ノボラピッド注イノレット	1562 円/キ ット
				ノボノル ディスク ファーマ	イノレット 30R 注	1512 円/キ ット
臨時 採用 供給問題 に対する	Meiji Seika ファルマ	SP トローチ 0.25mg「明治」	5.7 円/錠			
	サノフィ	インスリンアスパルト BS 注ソロ スターNR「サノフィ」	1278 円/ キット			

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院・ふれあい生協病院 薬剤科 DI 室
(代表) 0570-00-4771 までどうぞ

担当 栗原・寺倉・中村・木村